

根来山げんきの森倶楽部

令和6年5月作業日誌

活動日：令和6年5月19日(日) 9:30～15:30 天気：雨 倶楽部員：37人

ここ数か月、お天気に恵まれない活動日。ブルーシートを張ったり合羽を着たりしながらの作業となりました。雨でままならない作業の中、それぞれ手ごたえと学びがあったようです。

炭出し作業

本日は、10名の参加で炭出し作業を行いました。先月同様の雨となり、先ずはブルーシートで屋根作りから始まります。雨水がたまらないように皆で考えながら柱を立てるなど屋根の形も進化しています。

今回の炭焼き期間は4日間で完成しました。ランダムにサンプルを取り七輪で燃烧状態を確認しながら製品を紙袋に入れていきました。今回は樹皮付き炭を減らしてほしいとの要望があり樹皮をはがしながらの作業で時間がかかりました。

今日の出来高は260kgでした。今後もお客様が満足されるように皆で頑張っていきます。皆様お疲れ様でした。(須山 佳則)



げんきの森のクワコ



カイコ

げんきの森ペディア

～クワコとカイコ～

チョウ目(鱗翅目)カイコガ科

「クワコ」は「カイコ」の原種で、カイコより小型で茶色味を帯びています。その名のとおり、桑の葉を食べ、枝に擬態するのが上手です。「カイコ」は「クワコ」を家畜化した昆虫であり、野生動物としては生息していません。(人間が世話をしないと生きられません。)

成虫はどちらもずんぐりむっくりの体と足にモフモフの毛が生えてかわいい顔(見る人による)をしています。また、食べたり水を飲んだりするための口がありません。

クワコの成虫は灰色がかった茶色で飛翔できるのに対し、カイコの成虫は白く、羽はありますが体が重くて飛べないといった違いがあります。



桑畑の地図記号

この日は朝から雨が降っていました。前回4月の活動日も雨で予定されていたお茶摘みが流れて残念でしたが、5月3日に臨時で催され、それに参加、初めてのお茶摘み体験をしました。楽しかったので「雨だけれども今日、お茶摘みできると嬉しいな。」と思いながらげんきの森へ。リーダーのYさんに相談したところ快諾していただき女性3名でお茶摘みをしました。

メンバーのHさんが女性陣をご案内してくださり、男性陣は別の作業へと別れました。降りしきる雨もなんのその、お喋りしながら新芽を探して口と手を動かしました。段々と葉っぱを摘むことに集中し、時には無心になって作業していました。

しばらくするとブーン…とチェーンソーの音が聞こえ、次かけ声が聞こえて男性陣が頑張っている様子が奥の方からうかがえます。少し集中が切れてきたところ「こちら頑張ろう！」と励みになりました。後から聞くと男性陣の参加は8名、見学者が1名でうるし谷の奥に倒れかけていたアラカシの木（直径150mm位）をチェーンソーで切って処理をしたとのこと。大きなエノキの枝と枝の間に挟まっていたので、アラカシの切り口にロープをかけて、7人で引っ張ること数回でようやく引き抜くことができましたそうです。「雨の中足元が滑ってなかなか苦労したよ。」と。聞こえてきたかけ声はその時のだったのかと納得しました。

お昼近くになり体も冷えてきたので葉っぱを摘む作業は止めて昼食にして、午後からは摘んだ葉を煎る作業をしました。ホットプレートを使用して1時間くらい手で揉みます。「アチチ…こんな感じでいいのかな。」「もっと揉むのかな。」「美味しくな一れ。」などと呟きながら徐々に葉がよじれて乾燥してきてそれらしく出来上がりました。早速、お湯を注いで味わってみました。ちょっと渋いけれども自分で作ったお茶は格別です。

まだまだ研究の余地がたくさんありそうですが、管理棟に置いてあるのでよろしかったらどうぞお召し上がりください。うるし谷は広いので手入れが大変とのこと。特に草刈りは必須作業で、「みんなで力を合わせて頑張ろう！」って話し合いました。次回はお茶の木に感謝しながら草刈りに参加させていただこうと思います。みなさまお疲れ様でした。（藤原 美佐子）



手も口も動かして…



揉んで揉まれて



初夏の味

里山整備体験講座

初めて里山整備体験講座に参加しました。あいにくの雨で午前中、先輩方と合わせて6人で合羽を着ての作業になりました。

道具の扱い方を教わり、管理棟からあじさい広場へつながる森の中の歩道の刈り払い作業をしました。

剪定バサミ、ナタ、ノコギリでその時に合う道具を選び頭と身体を使って作業を進めていきます。作業する中で、ネジキの花が咲いていたり、いろいろな木や植物との出会いがあり心揺さぶられました。

季節を感じながら身体を動かしても気持ちよかったです。げんきの森についてもっと学びたいと思いました。

作業後の道もすっきりと歩きやすくなりましたよ。みなさんもぜひ歩いてみてください。

(阿部 裕美)



ゆきんコラム

先月に続き、今回も新人研修。山の中でノコギリ、ナタ、剪定バサミの練習ですが、中々うまく切れません。そして作業に夢中になると写真が撮れない!!!

ナルホド。何となく「適材適所」と「餅は餅屋」の言葉を思い出す。

うん。私はやっぱりカメラ係です(笑)

でも作業中見つけたこの白いお花がお気に入り♪



今月の1枚 ネジキの花

6月1日、全国みどりの愛護の集いが和歌山市で開催され、その中で根来山げんきの森倶楽部も「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受けました。

国土交通省が窓口になる式典なので都市緑化や河川清掃などの活動団体が中心に表彰されたようですが、森林公園で活動する私たちの活動も広い意味ではこの式典の趣旨に合致したのでしょうか。

どのような選考経過を経て決定したのか私たちには知ることはできませんが、地道な日々の活動が評価されたことは間違いありません。

森の環境を守りながら来園者に喜んでもらえる森林整備を行うとともに、その森を様々な観察会や体験活動、森のようちえんなどの教育活動に活用する私たちの活動は全国に向けてに胸を張ってもいい活動だと思います。

これからもげんきの森をもっともっと人も生き物も生き生きと過ごせる森に育てていきたいものです。 岡田 和久